

平成25年・年頭所感

日本LPガス協会
会長 松澤 純

新年明けましておめでとうございます。平成25年の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この2年間を振り返ると、2011年は試練の年、2012年は対応の年と言えると思います。東日本大震災を踏まえた対策としては、災害に備えたLPガス供給体制の強化策として、LPガス備蓄を災害時にも放出できるようにした石油備蓄法改正が最大のポイントであったと思います。その改正石油備蓄法では、元売り・卸・小売事業者は地域ブロック毎に共同して供給連携計画を作成し、経済産業大臣に届け出ることになっています。また、国の補助事業により、基地機能強化、中核充填所整備も進められております。

さて、2012年の対応の年に対して、次の2013年は「新しい風を捉える年」と言えると思います。「新しい風」とは、「米国シェールガス革命」と「エネルギー政策の見直し」です。

1. 米国産LPガス調達の動き

北米シェールガスの生産急拡大に伴うLPガスの生産増と、2015年初頭に完了する予定のパナマ運河拡幅工事をにらんで、一部の元売り会社において北米からのLPガス輸入への取組みが始まっています。原油の高騰に伴うCPの変動と中東地域の不安定さに鑑み、輸入先を分散して調達リスクを下げるとともに、輸入価格を安定させることが必要であります。量はまだ大きくありませんが、これまでの中東依存を少しでも変えるために、元売りが調達先を分散する方向に舵を切ったということは、重要な動きと位置づけております。

2. エネルギー政策見直しへの対応

総合資源エネルギー調査会基本問題委員会では、一昨年来 33 回に亘って集中的にエネルギー政策の見直しについて検討が行われてきましたが、エネルギー政策の明確な方向性が示されない中で衆議院が解散し、総選挙の結果、自民党を中心とする新政権が誕生しました。これに伴い、新しいエネルギー基本計画の策定は、新政権の下で改めて検討が行われていくものと思われれます。ただ、第 31 回の会合で示されたエネルギー基本計画の骨子につながる「エネルギーに関する今後の重点施策(案) <改定版>」では、LPガスの位置づけがより具体的に記載されており、この点につい

ては新政権にも引き継がれるよう期待しております。

一方、昨年末カタールのドーハで開催された COP18 において、地球温暖化対策はより厳しい方向を指向しているとの報告がなされており、我が国においても一層の環境問題への対応が求められていくものと思われまます。

これまでLPガスは、分散型のガス体エネルギーとしての特性を活かし、節電、省エネ、省CO2の推進、災害対応などで、国のエネルギー政策に貢献していくと提言してきましたが、「新エネルギー基本計画」において、LPガスが明確な位置づけを確保するよう、引き続きしっかりと対応してまいる所存です。

3. 保安

まず基地の災害対策面では、昨春政府がとりまとめた「震災を踏まえた地震・津波対策」の実施に向けて、具体策の検討が進められています。当協会では、具体策策定に積極的に参加しており、実施策が確定され次第着実に実行してまいります。

保安面では、当協会主催で「LPガスの保安に関する講演会」を毎年、東京・大阪の2会場で開催し、事故情報、法改正動向、保安技術など業界の保安向上に向けた活動を推進しております。今年は、講演会も第40回となるため、東京・大阪・福岡の3会場で開催する予定です。関係者の方々には是非参加をお願いしたいと思います。

また、工業用消費者に対する保安啓発活動の一環として、今年度内に当協会のHPに保安情報サイトを立ち上げることとしており、活用を期待しております。

4. 日団協活動について

日団協活動につきましては、日団協会員団体間の連携を従来に増して強化するとともに、ウィズガス CLUB 活動を中心にしたコラボ活動も8年目を迎えております。東日本大震災の発生を受け、「節電」・「セキュリティ」・「分散型」の役割や社会的な必要性がますます高まっていると考えます。

そのような中で、昨年10月よりコラボ活動として新コンセプトワードである「ガ、スマート！」を LP ガス業界としても全国展開していくことにより、各ガス事業者や各メーカーの PR 活動による相乗効果を生み出し、社会的に「ガスは新しい、これからのスタンダードである」というポジションをきちんと確立していきたいと思っています。

5. 最後に

平成25年は日本LPガス協会が設立50周年を迎える年でもあります。

当協会は、平成25年度の最重点課題を、「エネルギー政策を見据えた中長期展望の具現化の推進」と定め、「新しい風を捉える年」とすべくしっかりと取り組んでまいる所存です。

このため、今年のスローガンを「人・未来・環境をつなぐ『やさしいエネルギーLPガ

ス』～炎もお湯も発電も～」と題し、今年がLPガス産業にとって発展の年となるよう、活動方針に沿って積極的に取り組んで参りたいと考えています。

関係各位の皆様には、今年もご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご発展とご健勝を祈念致しまして新春のご挨拶とさせていただきます。

以上